

第10回 平成24年3月15日(木)

昨年4月に開講した一流塾も今回で最終回を迎え、講師に木村政雄氏(木村政雄法律事務所代表、フリープロデューサー)をお迎えしました。

木村氏は『個と経営 一人と組織の賞味期限』と題し、吉本興業のやすし・きよしのマネージャー時代、東京事務所立ち上げ時や吉本新喜劇立て直しの秘話等をちりばめたユーモアに富んだ語り口で、現在は「量的拡大」から「質的发展」への変革期にあり、変化に対応できる「動体視力」を持たなければならない、と説かれました。また、人間や組織には「賞味期限」があり、それを延ばすための秘訣について、ご自身の経験を踏まえて述べられました。塾生からは、これまでとは違った新鮮な切り口で改めて「枠組みを外す」ということが素直に理解でき刺激になった、わかりやすい言葉で経営にも通じるいろんなヒントを頂けた、とにかく面白いお話だった、との声が寄せられました。



木村政雄氏



一流塾 特別顧問
福川伸次氏



塾長 一柳

その後、一年間の塾を総括する卒業記念講義として、一流塾 特別顧問の福川伸次氏(財機産業記念事業財団 会長、元通商産業事務次官)から卓話を頂き、これからのリーダーに求められる3つの条件(①将来の Vision を示す、②魅力ある人物であること、③システムを適正に動かす管理能力をもつこと)について触れ、卒塾後の活躍に期待していると激励しました。その後、一柳塾長から一年間の塾の総括として、「一流塾で“ホンモノ”に触れた経験を活かし、“夢”“情熱”を持ち続け“人間力”を磨き、一度限りの人生を明るく前向きに頑張りたい」と塾生を激励しました。

講義後の卒塾式では、冒頭に、まず一流塾 特別顧問の塩川正十郎氏(東洋大学総長、元財務大臣)から祝辞を頂き、日本は現在大変な状況にあるが、塾で学んだことを生かし頑張りたいと塾生を激励しました。その後、講師としてご登壇頂いた西川善文氏(株三井住友銀行名誉顧問、元日本郵政(株)社長)からは「逃げるな、諦めるな、負けるな」、渡邊五郎氏(森ビル(株)特別顧問、元三井物産(株)副社長)からは「ダイナミックなバランス感覚のある国際人になれ」、斉藤 惇氏(株東京証券取引所グループ 取締役兼代表執行役社長)からは「海外の優秀な経営者達に負けないように頑張れ」と激励のお言葉を頂きました。



一流塾 特別顧問
塩川正十郎氏



(株)三井住友銀行 名誉顧問
西川善文氏



森ビル(株)特別顧問
渡邊五郎氏



(株)東京証券取引所グループ 社長
斉藤 惇氏

最後に、一柳塾長から塾生代表(田村哲哉ロイヤルホームセンター(株) 社長)へ修了証書が手渡されるとともに、塾生代表から答辞が述べられ、式が締めくくられました。



塾長 一柳から修了証書の授与

塾生代表による答辞



(西川講師) (渡邊講師) (塩川顧問) (福川顧問) (一柳塾長) (齊藤講師)

第4期生 卒塾の記念撮影

第4期一流塾の最後となった懇親会では、出席した塾生が講師陣と膝を突き合わせ、本音で意見交換を行う絶好の機会となりました。塾生から1年間の塾の活動を振り返るスピーチでは、「非常に密度の濃い勉強会で大変刺激的だったし、勉強不足を痛感した」、「一流の講師陣に直に接し、“ホンモノ”が持つ凄さを実感した」、「この1年間は震災もあり色々苦労したが、それ以上にこの塾で学んだことは一生忘れないと思う」等の声が寄せられました。最後に、卒塾後もOB会(「一流塾OB会」)活動等を通じて再会することを誓い、第4期一流塾は終了しました。

なお、その後に塾生有志が塾長を囲んで行われた放談会では、塾長と塾生が最近の政治や政策について本音で議論したり、一年間の塾での思い出などを振り返って一同大いに盛り上がり、袴を脱いだ塾長と塾生の楽しい交流が深夜まで続きました。

